

ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組 氏名 F男 策定責任者 策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で起きる 自分の布団をしまう 		<ul style="list-style-type: none"> 8時をまわった頃から「朝だよ」と声を掛ける。 8時半ぐらいまでには起床してもらう。 土日は無理に起きてもらう必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸をノックしてから開け、声を掛ける。 起きている時には「おはよう」と声を掛け、起きてくるのを待つ。 自分で起きた時には「よく起きられたね」「すごいね」等の声掛けを忘れずにしていく。 朝が苦手なので無理に起こすことはしない。

2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で着替えることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな服がいつでも部屋にある入れ物に入っている様にする。 	<ul style="list-style-type: none"> シャツをズボンにしまうように声を掛ける。 ズボンをしっかりと履くように声を掛ける。。 靴下を出して渡し、履いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろとうるさく言うよりは、マイムで伝えるようにする。それでもしっかりとできていない時は、職員が気をつける。 本人が足を指して来る時は「靴下ください」のサインなので渡す。 自分の好きな服を選び、着れた時は「かっこいいね」と褒める。 ちゃんとした格好をしていないときはこちらから「これどう？」と勧めしてみる。

3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 洗面台まで来ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> タオル 	<ul style="list-style-type: none"> 「顔を洗うよ」と声を掛ける。 洗面台までに誘う時、マカトンを使ったり、手を繋いで一緒に洗面台まで行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 着脱し終わると同時に食堂に入ってしまうことが多いが、本人もしなくてはいけないと思っているので、忘れずに誘う。

4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で食器を片付けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> マヨネーズの用意。 ボン酢（ミツカン） 朝食時シーチキン用意 本人用の食器を使用。 昼、夕芋とミニラーメンの用意 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の前に薬を渡し、ちゃんと飲んだことを確認する。（一杯目のお茶は用意しておく） 手を合わせ「いただきました」（終わり）のサインをしてきた時は、「どうぞ」と促す。 本人指差してきたものに答えていく。 嫌いなものが分かっている場合は、本人が来る前に抜いておく。 ご飯が苦手と食べないので昼、夕食事に本人の要求で芋かラーメンを選択してもらう。 お芋のお代わりもしていいことをつたえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の好きなテレビ番組をやっているときは、食堂に来る事が遅れることもあるので「テレビ終わったら来てね」等声掛けをしておく。 （朝）牛乳とお茶を飲むコップは使い分けたいようなので本人の要求があれば、用意する。（自分で用意するときもある） マヨネーズのかけすぎに注意する。 にんじん、りんご、ウインナー、煮物系、練り物が苦手 母の写真（典子さん）、ハゴロモシーチキン、日清、キューピー マヨネーズやボン酢は自分でかける事ができないので「どうする？」と本人に確認し、かけるようなら支援する。 嫌いなものを人にあげずに残せた時は大いに誉める。 食器をガチャガチャするとき、何か嫌なこと、心配があるときの発信。そのときの気持ちを代弁し止める。 レンジを強迫的に温めている時は、嫌いな物が合った時が多いので「嫌いだったんだね、残してもおかしくないよ」と話し、止め次回は抜くことを約束する。

5. <歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・歯ブラシを持つ事ができる	・電動歯ブラシ使用	・洗面台まで呼び、その場に横になってもらう。 ・呼ぶときは「サンスターするよ」と声掛けをする。(本人に分かる言語) ・本人からサイン(歯を指す)があった時は早めに答える。	・手をつないできてもらっても良い。 ・じっとしているのが苦手なので、すぐ終えようとするが、数を数えて「まで磨こう」とか、「もう少しやろうか」などの声掛けをしていく。磨けたときはしっかり褒めること。

6. <排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・自分で行く事ができる。 ・排便後も自分で拭ける。		・トイレに向かうとき留意する。	・トイレに入る前からズボンを降ろした状態で行こうとするので、マイムや声掛けをする。 ・排便後、お尻を拭いてほしい要求があるので、支援する。

7. <入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・自分ではいる事ができる。	・着る服を用意する。 ・入浴は嫌いな為、月に2回本人と決めた日をカレンダーに掲示する。	・洗髪の実要求があれば答えていく。 ・体を洗われるのが嫌なようなので洗わない。	・洗濯物を出す事ができたときは、「出せたね、すごいね」と必ず褒めるようにする。 ・決めた日じゃない日に入ろうとしても、「きれい好きだね」などの声掛けをして止めない。 ・決めた日でも無理にしつこく、「入る？どうする？」と聞かず、「どうぞ」と気楽な気持ちで声を掛け、本人に任せる。

8. <就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・自分で居室に行ける。	・布団を敷く	・寝る前に布団を敷いてもらう。 ・本人用のボードを変え、次の日の日課を説明する。	・夜間は、自由にテレビ、ビデオを見てもらい、「早く寝なさい」等うるさく言わない。

9. <爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		・「爪を切ろうよ」と本人が出してくれるので待つ。 ・本人からの要求もあるので、快く切る。	・無理やり切ることがない様、本人の意志を大切にす。 ・上手に切らせてくれた時は「上手に切れたよ、ありがとう」と褒める。 ・ストレスが高い時は、強迫的に切ってしまう時もあるので、切らなくてもよくなったことを褒めていく。 ・思うようにいかず、攻撃したい思いを隠そうとして必死に切りたくなってしまうので、その思いを代弁する。

10. <耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		・「耳掃除しようか」と声を掛け、横になってくれるのを待つ。	・嫌がる時は無理にやらない。 ・マイムや声掛けで快くやってくれるのを待つ。

--	--	--	--

11. <ひげ剃り>

・全面介助		・「髭剃ろうか」と声を掛け膝枕をしてもらおう。	<ul style="list-style-type: none"> ・上手にできた時は「かっこよくなったよ」等の声掛けをし褒める。 ・髭剃りは「1, 2, 3」と声を掛けながら剃っていく。 ・髭剃りの本体に書かれているロゴを指差したら、パナソニックと答える。 ・綺麗に剃ることが出来れば、「ありがとね」等の一声を掛けたりする。その時にビデオの要求などがあれば応える。 ・剃り忘れた時は朝礼後に誘う。
-------	--	-------------------------	---

12. <移動>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・自分で歩く事ができる	屋内		
	屋外 ・本人用の靴を事前に用意して「この靴履いていこうね」と手渡す。 ・バス マイクロ用ビデオカタログ ・自家用車 本人の好きなテープカタログ	・裸足で出て行くときには、必ず靴を履いていくように声をかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに行くので、事前にトイレの場所を把握しておく。 ・老人、子供の側を通る時は本人が突然飛び跳ねたり、大きな声を出さないよう間に入って歩く。 ・行きたいところを教えてくれるので、本人のペースを大切にする。

13. <健康>

一般的な健康状態（体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等）	てんかんの状況と対応 （発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応）
・健康	発作 有 ・天候が崩れたとき、精神的なことで発作になる事がある。（年に2～3回） 全身けいれん、チアノーゼを伴う。発作時はルビアルを使用。発作後も体が動いてしまい、本人では止められないので、職員数名でとめ、膝枕等しながら一緒に過ごす。 ・発作の時は転倒することもあるので、気をつける。発作後は爆睡する。
風邪・発熱時の状況と対応 （症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等）	内科的疾患（腹痛・下痢・便秘等の状況と対応）
係わりについて ・発熱の場合も入浴したい気持ち強いが、体の状態を話し、なぜ入浴してはいけないのかを説明することで納得してくれる。しかし、体が動いてしまうので、職員で体を止めながら我慢してもらう必要がある。我慢できたときは「頑張ってたね、次はきっと入れる	腹痛：特に問題なし 下痢：心配事があると下痢をすることがある。 便秘：特に問題なし

よ」等のフォローをしっかりとしていく。 静養の仕方 ・体の状態をよく本人に説明し、居室に布団を敷き環境を整えておく。横になれないときが多いが、上手に静養できたときは「すごいね」等の声掛けを忘れない。 検温の仕方 ・寝てもらい、脇の下に体温計を挟んで、測定できるまで職員がそばについて測定。	
皮膚科的疾患（水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応） ・夏場はあせもがしやすいので、母親が用意するももの葉ローション等を使用。	その他の疾患（耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について） ・花粉症になる。 ・ひどい時は通院して点眼薬、点鼻薬を使用。
視力・聴力 ・特に問題なし。	内服薬の服用方法 服薬について ・錠剤、粉薬共に服用可能 ・春先、花粉症の薬
外用薬等の使用方法 外傷 ・絆創膏、包帯等使用不可能。消毒をこまめに行う。 ・花粉症のため、目薬の点眼。	本人の異常（発熱・頭痛・腹痛・歯痛）の訴え ・具合が悪い時は、本人が布団を持ってきてのんびりサインをして横になることで教えてくれる。

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・付き添い職員必要。	・通院することを事前に話す。 ・誰と通院したいのか確認。 ・通院しなくていいときは本人に、どうしたいのか確認する。 ・前日に通院日課ボードにかける。	・通院すると決めたら本人も頑張ると決めたことを強くおしあげる。 ・通院頑張ったことをたくさん誉める。 ・母からも誉めてもらう。

15. 身の回り品等の整理整頓

整理整頓の状況	支援の方法	心づかいの内容
・自分の好きなようにしたい。 ・自分では整理整頓できないのでできるように分けれる BOX を用意し、分かりやすくする。	・本人の好きな空間を理解し、ビデオ、カセット、雑誌を分ける BOX を用意。 ・衣類は濡れている物がないか確認し、ハンガーにかける。	・自分の空間をいじられるのが、嫌なので理解していることを伝え、できないところは本人と相談して片付ける。

16. 金銭管理と使用

管理と使用の状況	支援の方法	心づかいの内容
・担当がすべて管理。 ・1ヶ月に1万円のお小遣い。	・「何が欲しいか?」「どこへ行きたいか?」本人に確認。 ・お小遣いの範囲で買えるもの、買えないものをはっきりさせる。 ・次はいつ行くのか早めにきめる。 ・帰省時に外出したい思いがあるので、月に1度は母と外出をする時にお小遣いを使う。	・外食を選んでも買い物へ行きたいときもあるので、我慢して嫌な思いをしないように、こちらから勧めることも忘れない。

17. 電話

掛けている状況	支援の方法	心づかいの内容
・本人が電話に出て代弁する。 ・職員がかける。	・本人から希望があったとき（本人からのサインは、電話の前に座る、耳に手をあてる）	・本人の気持ち（母への）を理解し、事前に話す内容を確認して代弁する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・他のメンバーが帰省しているとき。 ・頑張ったときや、嫌だったとき本人の気持ちを代弁して話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったときはたくさん誉めてもらう。
--	--	---

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日